

# 大阪府トレセンU-11 トレーニング メニュー

テーマ	ゴール前の攻防
-----	---------

2014年 12月 8日(月) 天候

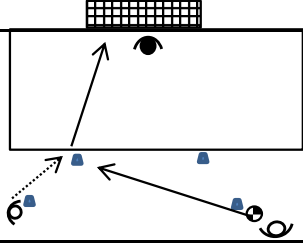
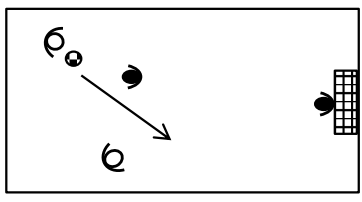
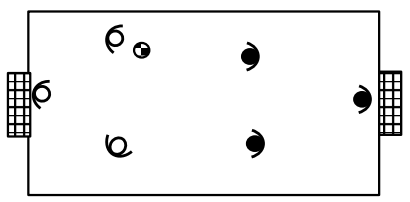
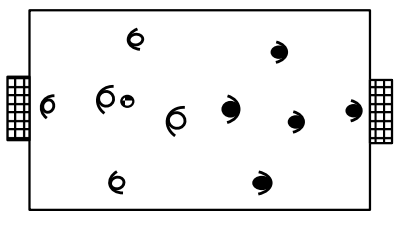
ヘッドコーチ 篠原 アシスタントコーチ 二村、藤岡

F P

	名前	所属	地区	gr	出欠
1	荒井 貫太	ガンバ大阪Jr	豊能		
2	三木 仁太	ガンバ大阪Jr	豊能		
3	櫻井 文陽	ガンバ大阪Jr	豊能		
4	中村 仁郎	ダックSC	三島		
5	和田 吉弘	吹田クラブ	三島		
6	脇山 陽登	塚原サンクラブ	三島		
7	角田 倫伝	吹田クラブ	三島		
8	中埜 航平	セレッソ大阪U-12	大阪市		
9	下川 陽輝	セレッソ大阪U-12	大阪市		
10	下西 竜聖	FOOT JOY SS	大阪市		
11	加藤 翼				
12	岡澤 昂星	大和田SSC	大阪市		
13	村上 時直	大阪市ジュネッスFC	大阪市		
14	溝口 響	池の里JSC	北河内		
15	西田 達哉	ミュートスSC	北河内		
16	山岡 未来	FC TIAMO Jr	北河内		
17	青木 玲	ジュネッスFC2003	北河内		
18	大野 陽平	田原SC	北河内		
19	大西 裕大	岩田FC	中河内		
20	鈴木 仁也	八尾大正FC	中河内		
21	藤本 大輝	岩田FC	中河内		
22	池田 柚生	東大阪JFC	中河内		
23	馬場 啓太郎	加賀田SC	南河内		
24	上田 蓮	羽曳野市SS	南河内		
25	根木 賢聖	SSクリエイト	泉北		
26	小河 詩朋	SSクリエイト	泉北		
27	恒岡 大雄	FFC Selecao	泉北		
28	吉川 祥五	SSクリエイト	泉北		
29	岩丸 流星	SSクリエイト	泉北		
30	那須 大雅	RIP ACE SC	泉北		
31	福井 悠人	アーバンベガサスFC	泉北		
32	新名 拓陸	FFC Selecao	泉北		
33	向井 颯	ジョイナスFC	泉南		

GK

	名前	所属	地区	gr	出欠
1	的場 翔哉	太田JFC	三島		
2	湯田 海	住の江キッズ	大阪市		
3	矢野 翔大	岩田FC	中河内		
4	井野本 将汰	八尾大正FC	中河内		
5	峯 伸行	長野FC	南河内		
6	大町 尚輝	SSクリエイト	泉北		
7	山本 大地	RIPACE SC	泉北		

メニュー	ポイント
<b>W-UP</b> ■シュート 	<ul style="list-style-type: none"> <li>観る(ボール、ゴール)</li> <li>ボールの置きどころ</li> <li>リバウンドの意識</li> <li>パス&amp;コントロールの質</li> </ul>
<b>TR 1</b> ■2対1~2対2  <p style="text-align: right;">※コーチから配球</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観る(相手、ゴール)</li> <li>1度のパスでシュートできる状況をつくる</li> <li>コントロールの質(コースを選べる置きどころ)</li> <li>DFは粘り強く</li> </ul>
<b>TR 2</b> ■2対2+GK~3対3+GK  <p style="text-align: right;">※コーチから配給</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観る、観ておく</li> <li>コミュニケーション</li> <li>ポジショニング</li> <li>正確なシュート</li> <li>コントロールの質</li> <li>リバウンド</li> </ul>
<b>GAME</b> 4vs4+GK 	
<b>(総合評価 コーチコメント)</b> 今回のテーマは「ゴール前の攻防」であった。ウォーミングアップでは、狙ったコースにシュートを決めるため、左右に蹴り分けられるボールの置き所を意識してトレーニングをした。 〈TR 1〉の2対1では、ゴールは決めているがシュートまでに何本もパスをして時間がかかっているようなプレーが多かったため、1度のパスでシュートが打てる状況を作り出すこと、パスの選択肢を持ちつつ突破をはかりシュートにもっていくことを繰り返し練習した。シュートまでいけないペアはボール保持者が味方を観ていないことがほとんどであった。個人での突破は得意な選手が多いが、味方と関わりながらプレーすることが苦手な選手が多いため、観ながら選択肢をもちプレーすることが今後の課題である。 〈TR 2〉の3vs3では攻撃の優先順位を意識せずにプレーしていることが多くみられた。GKがキャッチし、攻撃に変わるとき、3人ともGKの近くに寄っていき足もとてボールを受けたがるシーンが多くあった。ポジショニングと攻撃の優先順位を意識することを今後の指導でより改善する必要がある。DFは1対1の粘り強さが出てきた。最後まであきらめずシュートブロックするシーンも多くみられた。成果と課題を次のTRで生かしていきたい。	